

旧中山道・旧日光例幣使街道を利用して京都朝廷の公卿達も行ったのです。戦国の世から織田・豊臣の不安定な国情に終止符を打ち、以後 260 年余りの徳川長期安定政権の基礎を固めた徳川家康の絶頂期と、その威風堂々の姿に思いを馳せました。そのような偉大なる功績に顕彰の念を乗せて、ド素人の私が東照大権現お参りの社参行列に特別参加の許しを頂いた夢想家になって、「大香ブランド老魂サブタイトル」を見出しの「徳川将軍家社参行列に特別参加」に設定したのです。

2. 「旧五街道」の中で一番に設定した理由

どれから始めるか考えました。直感で決めました。東北を北上する旧奥州道中は最後にする、本州（日本列島）の地理的「へそ」近くにあると思われる下諏訪を基点とする旧甲州道中を真ん中（3 番目）にしたいとの条件からは、必然的に旧日光道中が 1 番目になったのです。

3. 印象に残った事

山道はまったくなく、全て舗装された車道沿いでありました。関東平野の中央部をほぼ真北に貫く旧街道筋である事からやむを得ないが、ちょっと残念な気持ちもありました。中でも東京都内の千住宿は、今は地元の人達の生活用品の商店街であるが、往時の宿場の雰囲気がとても残っていました。梅雨時の晴れ間をぬって歩いたと言う感じで、連日の蒸し暑さはすごかったのですが、十分な水分補給で体調維持を図り何の不調もありませんでした。

（1）重厚長大な松・杉並木

一つ目は、図-23 左のとおり、草加松原の綾瀬川沿いに約 1.5 km に亘ってトンネルを形成している、見事な鬱蒼とした松並木です。捕植などの手入れをしながら整備されていました。

二つ目は、宇都宮の市街を抜けてしばらく行くと杉並木が現れて来ます。旧日光道中と言えば杉並木ですが、同図 23 右のとおりで、見事な大木が保存されていて、真に素晴らしい存在感でした。今市までの予想を超える長大な大木の杉並木街道には大満足でした。また、壬生通りにも同等の杉並木がありました。いずれも車道を挟むように連なっており、良くぞ「残した」「残された」遺産に感激しました。日光に近づくほど見事な杉並木が連なり、東照大権現社参特別参加の光栄に感謝感激で率直に喜びました。



図-23

（ 振り返って、後日談的になるが、箱根の杉並木も良いが、大きな塊としては、この日光界限の杉の大群は日本一ではないかと思っています。）

（2）トイレの事

小さな気付きですが。公衆トイレについて考えさせられました。この旧日光道中トレイルより早い春に旧熊野古道スルーハイクで大阪府、近畿圏に行った時との比較です。東京都内では、小さな公園や、公園でなくても道路三角コーナーの官地（空き地）があればトイレが設置されている所が非常に多いという印象を持ちました。ところが、大阪府内では大きな公園でも無い所が多かったと思います。この事を通り掛かりのあるお年寄りの方と話していたらその人は「大坂はおしっこ臭い」と話されました。しっかりと観察されている人がいる事に感心しました。その旧熊野古道の時、泉佐野市に入ったら犬の糞の放置はあまりにも酷く、とにかく汚い地域でした。犬税導入検討の話題になった市であるが、^{うなづ}領きました。まさに、そのお年寄りの方の「大坂はおしっこ臭い」と言う表現がぴったりだと思い出しました。関東圏に比べたら関西圏は糞のみならず、生活ごみの散乱で汚い。橋下徹大阪府知事よ、立派な事を垂れる前にモラルアップ運動でも展開したらどうなのかと進言したくなりました。

(3) 原発問題提起

この年の3月11日（金）午後「東北地方太平洋沖地震」が発生し、東京電力（株）福島第一原子力発電所の原子力事故により、大気・海洋の放射能汚染がありました。私は現役時代電力エネルギー産業に従事し安全神話を振り撒いた一人として、反省と贖罪^{しよくざい}の心を傾け、このトレイルで、人と会う度に原発の恐ろしさを話題に出し、広くエネルギー問題を提起し、意見交換を深めて来ました。とても有意義に感じました。

=====

(後日談)

高齢者・老人を励ますような書籍は沢山あるが、中でも五木寛之さんの「孤独のすすめ（人生後半間生き方）」（中公新書ラクレ）に共感する処があるので記述し感想を入れて見ます。

- ▼ 「・・・2011年3月11日の出来事・・・原発事故は、先端技術の信じがたい脆さ、危うさとともに、この国で最も「優秀」だと信じられていた人たちの無能ぶり、いいかげんさをも、満天下に晒すことになったのです・・・」
- ▼ 「・・・同原発事故が発生した直後、放射能が、ただちに健康被害をもたらすことはない」という政府発表が繰り返れました。・・・原子力や放射能の専門家たちの発言からして、『絶対に大丈夫』から『将来何十万人もがんで死ぬ』まで、ほとんど不確かなものだった・・・」

五木さんは完全な不信感を持っています。当然のことです。（やむをえない、などという甘い表現はダメ）私もまったく同感です。東京電力の過去の取締役・経営陣で、誰一人として、刑事責任を負わないではないか。民事損害賠償の殆どは国民の税金ではありませんか。このようなことがまかり通るように野放しにして来たのは、原発事故までに係った当時の政権です。何々党の好き嫌いはどうでもいいのです。東電のやって来た原発施策・原発推進は全て法律の後ろ盾があったのです。よって、時の多数を占めて法律を通して来た政権与党も同罪なのです。（ところでは、私はいわゆる“無党派”です。）

=====

4. 次に繋ぐ思い

「旧五街道」に、ついに足を踏み入れたとの思いが強くなり、こうなれば残りの4つの「旧五街道」を是非とも歩きたいと念ずるようになりました。

(後日談；現時、図-22 左を見ながら、「旧中山道」は既に踏破済なので、次には「旧日光例幣使街道」を歩いて見たいと思っています。そうすると同図からは女性の生命誕生の基^{もと}の形を描く事になり、秘めやかな形状にも見え靈妙さが増すばかりです。)

5. 本トレイルの感想をつたない短歌で

“杉並木の太木連ね堂々と 家康公の偉業を讃えん”
“来てみれば東照宮は華美を極め 家康公を神と崇める”
“文明の排気に負けず仁王立ち 良くぞ残った杉の大木”

(end)

⑥ 2011 (平成23)年「旧日光道中(往復)」スルーハイク (旧五街道に初挑戦) <8連泊9日間=往復>の全踏破歩行記録

---移動行程集計表

「大香ブランド老魂サブタイトル」は ~ 徳川将軍家社参行列に特別参加 ~

累積 日数	行動月日		街道の歩行区間 通過主要地点・旧宿場名・始終点	実歩行 距離 km	歩行時間				平均時速 f=a/e	天候	備考	宿泊先 (略称)		
	月 日	曜 日			歩行開始 時:分	歩行終了 時:分	歩行時間 時間:分	時間換算 時間				所在地	名称	
														a
前日	6月13日	(月)									(前日泊)→	東京都中央区	センターホテル東京	
以下【日光道中】本道(往路)												スタート		
1日目	6月14日	(火)	[日本橋(S)]→千住→草加→越谷	29.5	6:10	15:20	9:10	8.3	3.5	曇り		埼玉県越谷市	BH岡本	
2日目	6月15日	(水)	(前終点)→粕壁→杉戸→幸手	27.4	6:45	16:45	10:00	9.5	2.9	晴れ		埼玉県幸手市	旅館あさよろず	
3日目	6月16日	(木)	(前終点)→栗橋→古河→間々野田→小山	39.1	6:40	16:10	9:30	9.5	4.1	曇り後小雨		栃木県小山市	BHイーホテル	
4日目	6月17日	(金)	(前終点)→小金井→石橋→宇都宮	34.5	6:20	16:50	10:30	10.5	3.3	小雨		栃木県宇都宮市	BH丸治	
5日目	6月18日	(土)	(前終点)→徳次郎→大沢→今市→日光	41.3	5:55	16:25	10:30	10.5	3.9	曇り後雨		栃木県日光市	BH日光季の遊	
小計				172										
以下【日光例幣使街道+日光壬生通り】(復路)														
6日目	6月19日	(日)	日光→(電車移動)今市(ここからハイク)→鹿沼	23.5	11:15	16:35	5:20	5.3	4.4	晴れ	午前中は日光東照宮界隈を探索	栃木県鹿沼市	鈴木旅館	
7日目	6月20日	(月)	(前終点)→楡木→壬生→小山	31.6	6:25	14:35	8:10	8.2	3.9	曇り後雨		栃木県小山市	BHイーホテル	
小計				55										
以下【御成道】(復路)														
8日目	6月21日	(火)	小山→(電車移動)幸手(ここからハイク)→岩槻 →東川口	31.6	7:50	15:30	7:40	7.7	4.1	曇り		埼玉県川口市	ホテルレンド	
9日目	6月22日	(水)	(前終点)→鳩ヶ谷→板橋→[日本橋(G)]	29.4	6:40	14:10	7:30	7.5	3.9	晴れ		ゴール		
小計				61										
合計				288										
1日平均				32.0	8.6				3.8		249		←ルート沿い計画距離	
				km	時間				km/h		km			

(注1) 江戸(東京)→日光の片道で本道中の完歩となるが、本街道と密接不可分の関連道も歩き往復の行程となった。

(注2) ルート沿い計画距離に対して実歩行距離が、39km(1日当たり4.3km程)長くなった理由は、山道の登降(沿面距離)、神社・仏閣立寄り等のジグザク歩き方の影響による。

(注3) 距離と時間の集計は、旧街道・古道沿い関係のみであり、長時間(片道15分・500m程度超過)街道を離れた場合などの移動ロスを除いて補正している。